

在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会 ～報告～

目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

○顔の見える関係会議や在宅医療研修の内容について検討

○その他の研修(各団体主催研修会の連携・調整など)について検討

<令和2年度> 部会内容

<p>第1回部会 書面会議 (令和2年9月16日～27日)</p>	<p>1 議事内容</p> <ul style="list-style-type: none">・顔の見える関係会議の今後の方向性・意思決定支援に関する支援者向け研修内容 <p>2 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none">・令和2年度各職能団体の研修実施予定・令和元年度在宅医療推進のための多職種連携研修会
<p>第2回部会 書面会議 (令和3年2月5日～14日)</p>	<p>1 議事内容</p> <ul style="list-style-type: none">・顔の見える関係会議の今後の方向性 <p>2 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none">・意思決定支援に関する支援者向け研修内容・令和2年度各職能団体の研修（実績報告）

1. 顔の見える関係会議について

■顔の見える関係会議の目的と課題

＜目的＞ 顔の見える関係づくりを推進し、医療介護連携体制を構築する

- ➡ 初めての方も参加しやすく、多職種が集い、活発に意見交換ができる
- ・ 医療介護連携の裾野を広げ、市民サービスの質の向上につなげることができる

＜課題＞

- 顔の見える関係会議は、多職種連携の体制構築につながっている
多職種連携の裾野を広げていくためには「新たな参加者を増やす」ことが課題
- 新たな参加者を増やしていくためにも、
 - ・ テーマの選定や参加勧奨の工夫
 - ・ エリア単位での会議開催等 の更なる充実に向けた検討が必要である

■今年度の取り組み

第1回部会では、「新たな参加者を増やす」ために、













- テーマの選定：現場での困りごと等、普段多職種が接している身近なテーマ
- 開催規模：連携のしやすさを考慮して日頃の業務上関わりを持つ機会が多いエリア別
- 方法：日中開催やオンライン活用の検討 とご提案いただきました。

★第2回部会では、今までの成果を踏まえて、「新たな参加者を増やす」新たな仕掛けとして、市民サービスの向上につながる連携を推進するためには、
「エリア」=「地域」はどの規模がよいか ご検討いただきました。

第2回研修部会（書面会議）結果報告

<議事> 顔のみえる関係会議の今後の方向性について（部会員からいただいたご意見）

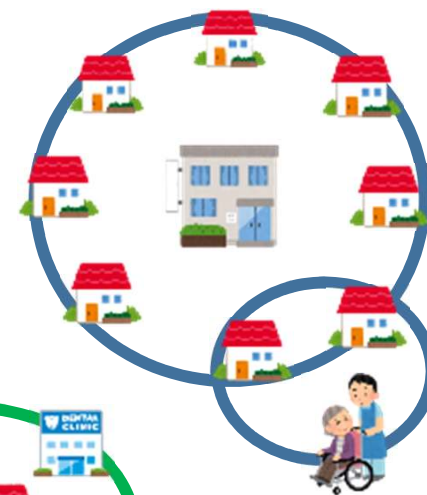
質問①各職能団体として、業務上で多職種と関係構築を図りたい圏域

職種	A（大圏域）	B（中圏域）	C（小圏域）	理由 ▲課題
医師				<ul style="list-style-type: none"> ・行動範囲的に中圏域間でまたがるので大圏域 ・近隣における更なる連携を希望しているので小圏域（かかりつけの患者は徒歩で来院しているので）
歯科医師				訪問歯科診療が中心となるため、より医院のある地域他職種との連携が不可欠であり関係性を強くしたい
薬剤師				各薬局の地域ならば、大圏域から小圏域まですべて必要
訪問看護師				<ul style="list-style-type: none"> ・近くの事業所とは現場で顔を合わせる機会があるので、少し離れた事業所の人と顔のみえる関係を作る機会があった方が連携のしやすさにつながる ・Web会議のやりやすい範囲
リハビリ職				訪問系サービスでは、利用者数の多い業務エリアである中圏域か、事業所付近の方々との交流を取ってみたいので小圏域
栄養士				地域に顔のみえる栄養士がいること「かかりつけ栄養士」の配置を目指している
ケアマネ				<ul style="list-style-type: none"> ・中圏域は、日頃一番連携を取っている、かつ取る必要がある圏域。新しい参加者のハードルが下がる ・小圏域は、初めての方も参加しやすく、日頃の業務で関わりを持つ機会が多い。コロナ禍で、なるべく小規模な集まりがよい ▲ファシリテーターの人数が課題
介護職				<ul style="list-style-type: none"> ・介護職としては、近隣の人と話がしたいので中圏域か小圏域 ・利用者を中心に連携を考えた場合は、中圏域。参加者の移動の負担も軽減できる ▲運営側は、小圏域になると回数が増えて負担が大きくなる
包括				<ul style="list-style-type: none"> ・業務上関わる範囲は大圏域（中小圏域は普段から関係ができています） ・参加対象にもよるが、事業所数を考慮すると中圏域がよい ▲小圏域だと医療機関や事業所数が偏る ▲Web会議だと規模が大きくなると顔が見えづらくなる

■医療・介護職の業務範囲を中心とした連携

医療職は、**大圏域～中圏域**の連携希望が多い

介護職は、**中圏域～小圏域**の連携希望が多い



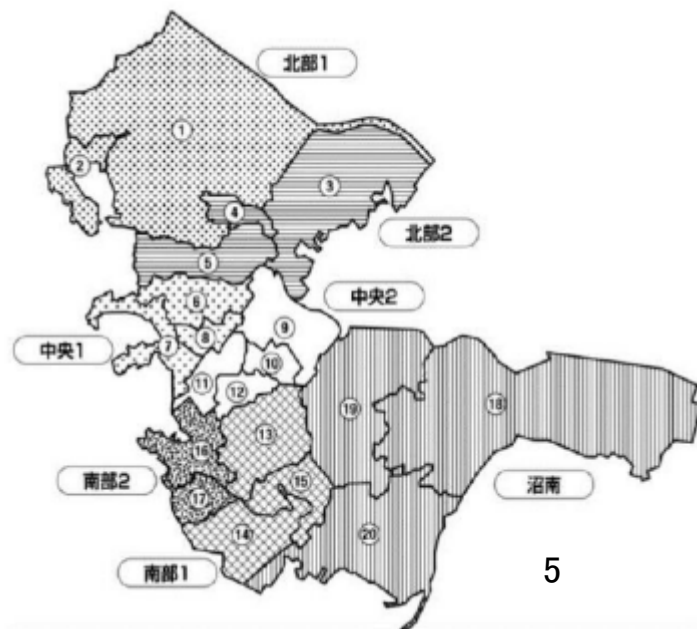
■利用者を中心とした連携：中圏域～小圏域の連携がよい



- <課題>
- 圏域が大きくなると・・・
 - オンライン会議だと人数が多くなり顔が見えづらい
 - 圏域が小さくなると・・・
 - 医療機関や事業所数が偏る
 - ファシリテーターの人数が足りない
 - 開催回数が多くなり、運営側に負担が大きくなる

<参考>

市域	大圏域	中圏域 * 日常生活圏域	小圏域 * 中学校区
柏市	北部	北部1	①田中 ②西原
		北部2	③富勢 ④松葉 ⑤高田・松ヶ崎
	中央	中央1	⑥豊四季台 ⑦新富 ⑧旭町
		中央2	⑨柏中央 ⑩新田原 ⑪富里 ⑫永楽台
	南部	南部1	⑬増尾 ⑭南部 ⑮藤心
		南部2	⑯光ヶ丘 ⑰酒井根
	東部	沼南	⑱手賀 ⑲風早北部 ⑳風早南部



顔会議（エリア別）の圏域

質問②圏域単位で希望する研修内容

- 感染症対策**（6件）：コロナ禍での各職種の取り組みや課題の共有など
- 事例報告・検討**（5件）：多職種で話し合える具体的な事例検討，困難事例など
- 地域資源・マッピング**（5件）：地域を知ろう，地域資源を活用しよう，マッピングなど
- 意思決定支援**（4件）：コロナ禍の経験を踏まえて意思決定支援を深めたい，ガイドラインの啓発など
- 介護職を主とした研修**（3件）：介護職から医療職に質問できる内容，介護職からの研修など
- 地域特性・困りごと**（3件）：地域性に特化した内容や困りごとなど
- 食・栄養**（2件）：フレイル予防，通所・施設で提供可能な食事，薬との兼ね合いなど
- その他**：お互いの職種を知る，難しくなく面白い内容，コミュニケーションスキル，認知症，災害など

質問③圏域単位でのメリットを最大限生かす工夫

- 【手段】 **オンラインやハイブリッド開催**（7件）
- 【対象】 責任者ではなく，**現場スタッフ**の参加（2件）
地域住民も交えての開催（4件）
テーマや内容により参加してほしい職種等に声掛け（2件）
事業所所在地の圏域に参加ではなく，**担当する利用者がある圏域に参加**
- 【テーマ】 事業所等に事前アンケートやヒアリングをおこない**ニーズ調査**（6件）
- 【規模】 **圏域規模を変えながら，複数回の開催**
- 【時間帯】 **日中開催**も検討（2件），夜間開催ならオンラインも検討

<顔の見える関係会議の今後の方向性について>

- オンラインの活用**や**テーマや内容に応じて圏域で開催**する等，柔軟に検討する
- 各職種ごとにアンケートを実施し，ニーズを把握する

* 次年度の第1回研修部会で検討予定

2. 意思決定支援に関する支援者向け研修について

■第1回部会では、

支援者向けの研修会の内容について、部会員の皆様からご提案いただき共有しました。

■次年度は、

提案内容で試行的に実施し、

その結果を踏まえて、職種・業種ごとの開催を検討していきます。



< 参考例 > * 第1回部会で提案いただいた内容（一部抜粋）



ポイント! 施設内での事例検討やデスクンファレンスの一環として実施し、入所者の支援を考える機会とする。

施設介護職員対象

内容	目的	所要時間	資料
講義 意思決定支援とはなにか。現状とガイドライン策定について	意思決定支援の目的や必要性を理解する。	10分	各資料
GW 事例① 事例の状態から、自分だったらどうしたいか、どうしてもらいたい意見交換	事例から利用者の思いを自分に置き換えて捉えることで必要な支援を考える。	25分	事例シート
GW 事例② 事例について支援方法を検討	支援のタイミングやポイントを考える。 普段の業務と照らし合わせて課題を抽出する。	25分	事例シート
まとめ GW発表	意思決定支援の必要性の共有と意識の向上	10分	

令和3年度 研修部会(案)

<部会>

年2回：第1回は5月頃予定

<検討内容>

- ・顔の見える関係会議の実施方法の検討
- ・意思決定支援に関する支援者向け研修会の実施（Web版作成等も検討）

